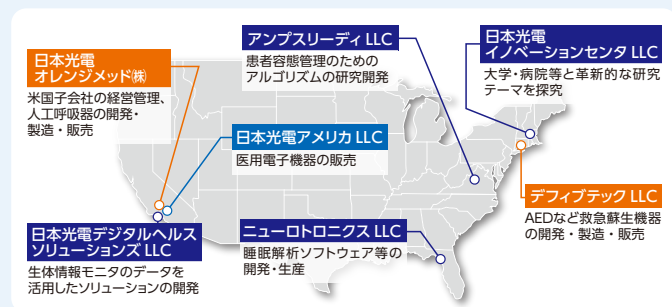


米国子会社を再編し、持株会社体制に移行

2023年4月、米国において子会社を再編し、持株会社体制に移行しました。日本光電オレンジメッド(株)が米国事業を統括する中間持株会社となり、その他の子会社は株式会社からLLCに組織変更しています。本再編により、現地開発・生産・販売機能を活かした競争力の一層の強化、シナジー創出を実現し、米国事業のさらなる拡大を目指すとともに、ガバナンスの強化および運営効率の向上を図ります。



担当者の声 米国市場におけるプレゼンスの向上と子会社再編

今回の米国子会社再編・持株会社体制への移行は、2020年4月の米国事業本部設立と同時に構想を開始しました。主な目的としては、「子会社間のコラボレーションを加速させることによる新しい価値の創造」「ガバナンス強化と構造的な効率の向上」です。本再編により、各社を横断する組織機能を強化するとともに、デジタルヘルスプラットフォームを中心に、各製品群を包括するソリューションを提供できる仕組みを構築し、米国事業のさらなる拡大と持続的な成長を目指します。



取締役常務執行役員
米国事業本部長
田中 栄一

グローバルで人工呼吸器事業を強化

NKV-330を米国で生産・販売開始

2022年9月、自発呼吸のあるNPPV(非侵襲的陽圧換気)適応の患者さん向けのマスク型人工呼吸器 NKV-330を米国で生産・販売開始しました。日本で開発した本製品は、2019年6月に日本、欧州、新興国で発売しています。2022年7月にFDA(米国食品医薬品局)承認を取得し、米国子会社の日本光電オレンジメッド(株)で生産を開始、発売にいたしました。マスク型人工呼吸器は先進国を中心に使用されており、グローバル市場の約6割を米国が占めます。可搬性に優れたデザインやハイフローセラピーモードの搭載を高く評価いただいていることから、米国での市場シェア拡大を目指します。



人工呼吸器 NKV-330



人工呼吸器 NKV-440

新製品 NKV-440を一部新興国で発売

2022年12月には、日本光電オレンジメッド(株)で開発した中位機種モデルの人工呼吸器 NKV-440をタイで先行発売しました。重症患者さん向けの人工呼吸器 NKV-550の基本機能を踏襲し、小型・軽量を実現、長時間バッテリーを搭載しました。タービン駆動により空気配管への接続が必要ないため、主に、新興国のICU、先進国の救急、一般病棟、院内搬送での活躍を期待しています。

また、米国では、大手GPO(グループ購買組織)の一つであるプレミア社と人工呼吸器の販売契約を締結し、2023年5月からプレミア社の会員である約4,400病院に販売開始しました。今後、本格的なプロモーションを進め、米国市場における当社プレゼンスの向上を目指します。

コロナ禍に拡大した人工呼吸器の新規顧客、設置ベースに対し、消耗品や保守サービスの提案強化に注力するとともに、新製品の投入により、グローバルでの人工呼吸器事業のさらなる拡大に取り組みます。



株主様アンケートのお願い

今後の株主通信・IR活動の充実のため、株主の皆様のご意見を参考にさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願いいたします。今回からWEBアンケートをご用意しています。右のQRコードからアクセスしてご回答ください。なお、WEBアンケートにご回答いただく場合は、同封のアンケートはがきのご記入・返送は不要です。

<https://forms.office.com/r/vq3Xs3kzkK>



第71期 株主様アンケートでいただいたご意見

- ・ 厳しい世界情勢にあるが、社員一丸となって企業発展に尽力してほしい
- ・ パルスオキシメータを発明した企業として、社会や医療への貢献を期待している
- ・ グローバルでの事業拡大を加速してほしい
- ・ 収益確保、安定配当を期待している
- ・ 株主通信はシンプルで読みやすい
新製品に関する説明は写真もあり理解が深まった
貴重なご意見を多数お寄せいただきありがとうございました